

ミスミグループ 2021年3月期 上期決算報告

2020年10月30日
代表取締役社長
大野龍隆

1. 20年度上期決算の概要	2
2. 20年度通期連結業績見通し	12

20年度上期決算の概要

為替レート(対円)	FY19上期 実績	FY20上期 実績
USドル	109.0円	106.7円
ユーロ	121.4円	121.4円
人民元	15.8円	15.2円

20年度上期市況と当社の取り組み

足元は

新型コロナ感染拡大や米中貿易摩擦等の影響により、
設備投資の低迷継続、グローバルで製造業が極めて厳しい状況

中国では回復傾向も他地域の戻りが弱く、特に日本の不振が続く

自動車は一部地域で生産に戻りが見られたものの、回復は弱い

当社は

足元では、需要低迷に対してコスト削減に尽力し収益を確保

モデル革新に向け成長に不可欠な投資は継続

20年度上期 決算概要

新型コロナ感染拡大等による世界的な製造業不況が大きく影響
第2四半期は想定内で推移し、売上・利益ともに計画線

百万円

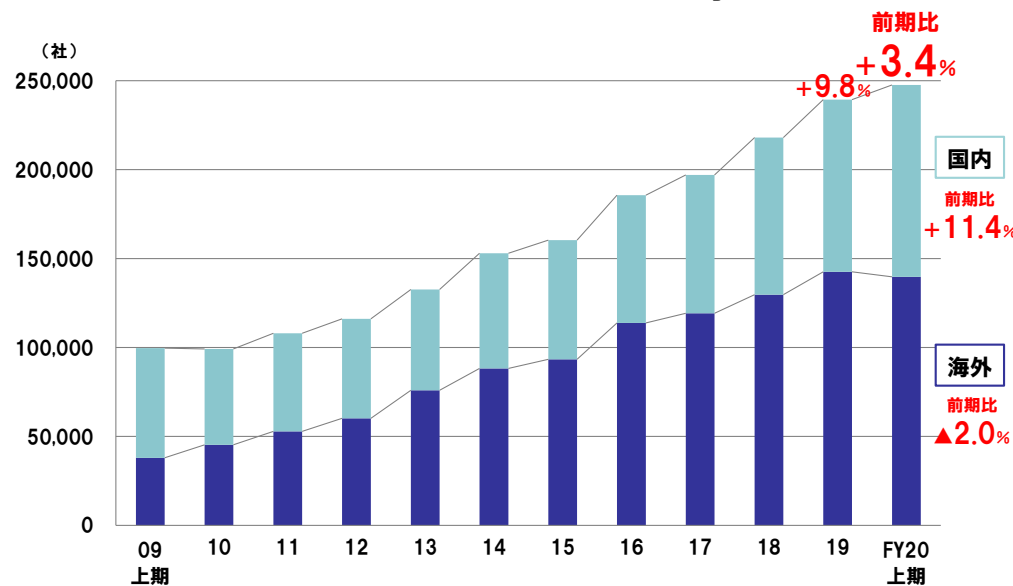
項目	FY19上期		FY20上期		
	実績	計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	157,133	141,000	143,302	▲8.8%	+1.6%
営業利益 (のれん等償却前)*	12,040	8,600	9,422	▲21.7%	+9.6%
利益率	7.7%	6.1%	6.6%	▲1.1pt	+0.5pt
営業利益	11,737	8,300	9,126	▲22.2%	+10.0%
利益率	7.5%	5.9%	6.4%	▲1.1pt	+0.5pt
経常利益	11,566	8,100	9,108	▲21.3%	+12.4%
当期利益	8,510	5,900	6,708	▲21.2%	+13.7%

※1. 北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益
2. のれん償却は2017年10月で終了

4

20年度上期 顧客数推移

感染拡大による生産活動停止の影響を受け、海外顧客減
国内はVONA浸透による顧客基盤拡大、meviyによる顧客増も貢献



5

20年度上期 事業別売上高

FA 中国は5G関連など好調も、日本低迷が影響
金型部品 自動車業界等の不振により全地域でマイナス成長
VONA 中国が回復基調も、日本の需要減が影響

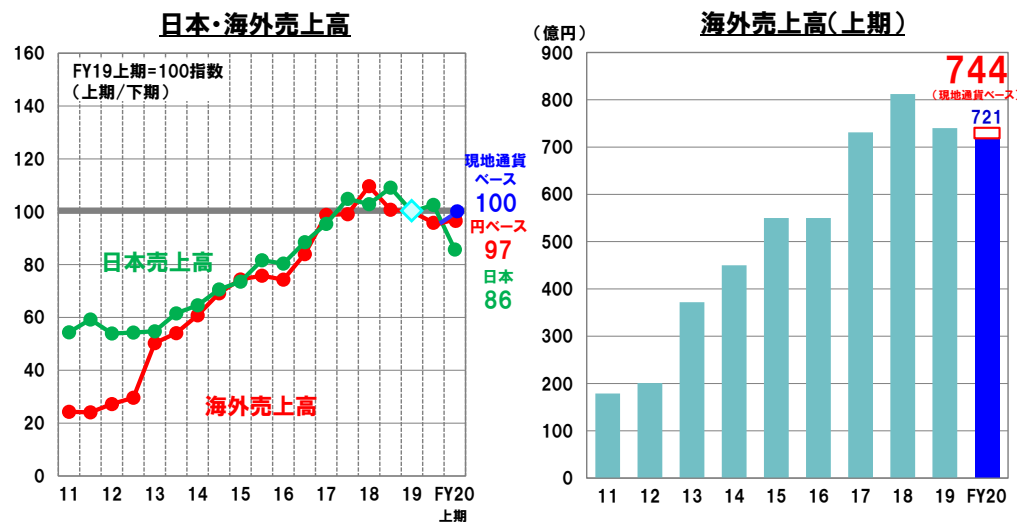
百万円

項目	FY19上期		FY20上期	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	157,133	143,302	▲8.8%	▲7.4%
FA事業	49,836	47,810	▲4.1%	▲2.7%
金型部品事業	37,257	31,028	▲16.7%	▲14.6%
VONA事業	70,038	64,464	▲8.0%	▲6.8%

6

20年度上期 日本・海外売上高

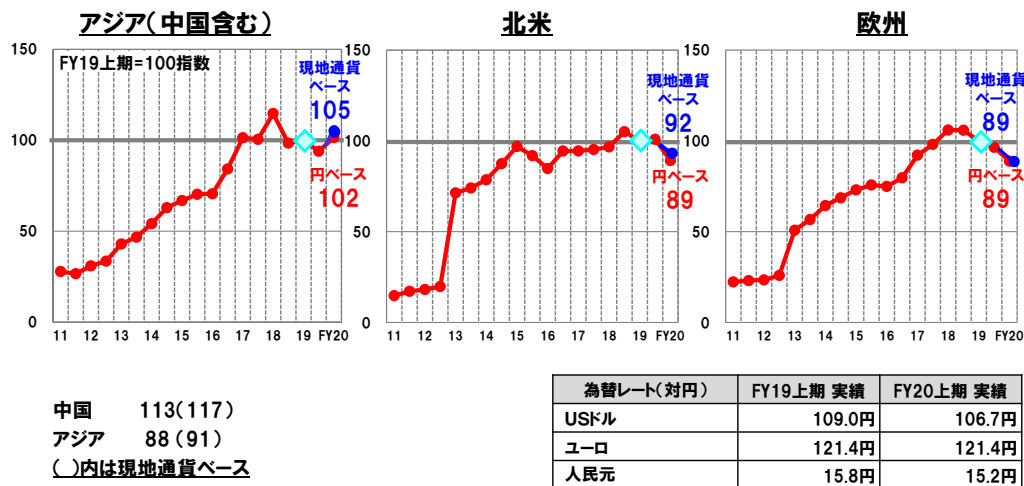
日本 需要低迷が継続、各事業とも低調に推移
海外 中国牽引するも、他地域の減収により現通ベースで前年並み
海外売上高は現通ベースで0.4%増、海外比率は50%



7

20年度上期 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中国は堅調な景況回復、5GやLi電池など好調に推移
米・欧 VONA成長するも自動車の低迷によりFA・金型低調



8

20年度上期 事業別営業利益

FA 商品ミックス良化が売上減影響をカバー、現通ベース増益
金型部品 販売減少の影響が大きく収益に影響
VONA 粗利率改善も、売上減の影響大

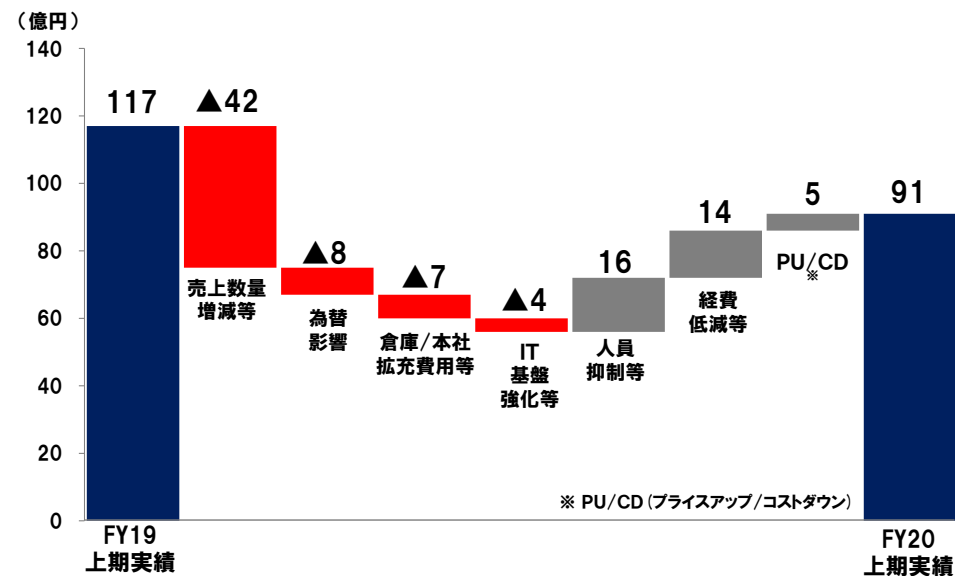
項目	FY19上期		FY20上期			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			利益率	円ベース	現地通貨ベース	
合計	11,737	7.5%	9,126	6.4%	▲22.2%	▲15.3%
FA事業	6,242	12.5%	6,128	12.8%	▲1.8%	+2.7%
金型部品事業	2,498	6.7%	1,273	4.1%	▲49.1%	▲44.6%
のれん等償却前	2,801	7.5%	1,569	5.1%	▲44.0%	▲40.0%
VONA事業	2,995	4.3%	1,725	2.7%	▲42.4%	▲28.5%

百万円

9

20年度上期 営業利益増減分析(前年比)

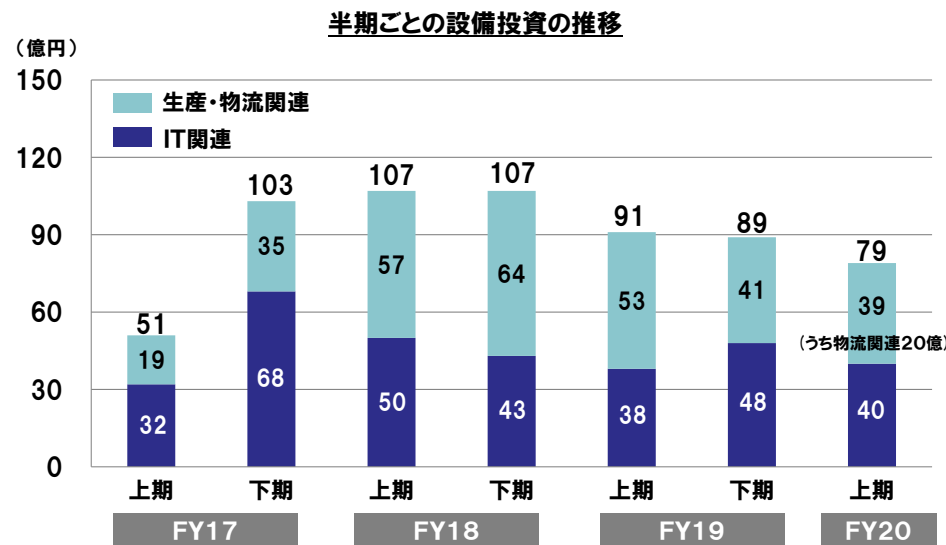
経費低減・人員抑制等図るも、売上数量減影響を吸収できず



10

投資実績

景況回復時の成長加速をめざし、モデル革新投資を厳選の上継続
IT・物流基盤投資を着実に実行、グローバル確実短納期を一層強化



11

20年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY19 実績	FY20 下期計画	FY20 通期計画
USDドル	109.1円	104.0円	105.2円
ユーロ	121.1円	118.0円	118.3円
人民元	15.7円	15.0円	15.1円

12

20年度 今後の見立て

新型コロナ感染拡大はあらゆる産業の自動化を後押し

本質的デジタルものづくりには停滞感

- ・消費の弱含み、米中貿易摩擦の長期化、EV化の加速

足元では

中国の回復に続き、世界各地で需要回復の兆しあるも、

感染症拡大や米中貿易摩擦等により製造業の先行きは不透明

当社は、

需要低迷下でも成長と収益を均衡化すべく、事業構造を見直し

持続的成長向け、デジタルものづくり適合のモデル革新継続

13

20年度通期 業績見通し

下期から緩やかな景況回復を見込むものの、需要動向に注視
特に日本は足元の底打ちの兆しあるも、回復は不透明な状況

項目	FY19 実績	FY20 計画	対前年増減率	
			円ベース	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	313,337	300,000	▲4.3%	▲2.2%
営業利益 (のれん等償却前)※	24,247	21,500	▲11.3%	▲1.8%
利益率	7.7%	7.2%	▲0.6pt	+0.0pt
営業利益	23,640	20,900	▲11.6%	▲1.8%
利益率	7.5%	7.0%	▲0.6pt	+0.0pt
経常利益	23,245	20,500	▲11.8%	-
当期利益	16,504	14,900	▲9.7%	-

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

14

20年度 事業別売上高見通し

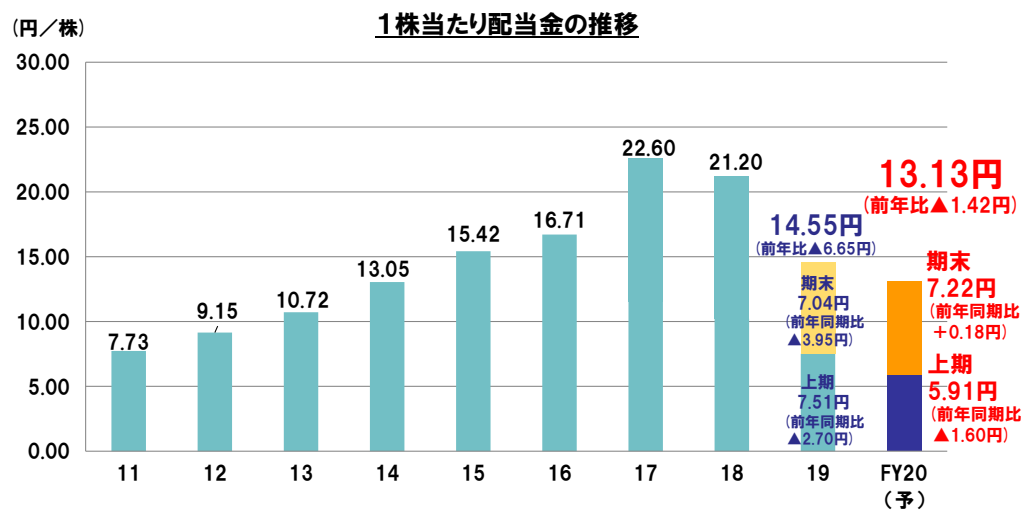
- FA 中国の復調に加えてグローバルで顧客開拓に注力
金型部品 自動車業界は回復基調も力強さなし、収益改善を優先
VONA 海外展開促進も、国内の回復には見極めを要す

項目	FY19 実績	FY20 計画	対前年増減率	
			円ベース	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	313,337	300,000	▲4.3%	▲2.2%
FA事業	99,403	100,867	+1.5%	+3.5%
金型部品事業	72,413	64,339	▲11.2%	▲8.0%
VONA事業	141,519	134,793	▲4.8%	▲3.1%

15

株主還元

20年度上期配当は5.91円で前年同期比1.60円減
年間配当は13.13円、前年比1.42円減を見込む



まとめ

持続的成長を目指し、強靱な経営体質への転換と成長投資継続

